

住宅用火災警報器(煙式) 自動試験機能付

日本消防検定協会鑑定品

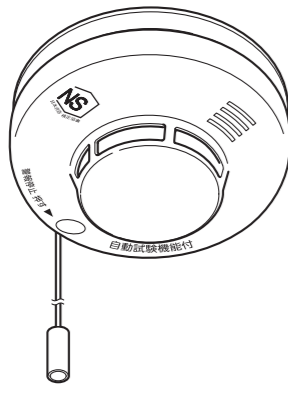


型式名 SA-262E(移報接点なし)/SA-265E(移報接点付)

取扱説明書 [保管用][保証書付]

このたびは、住宅用火災警報器をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みいただき、正しくお使いください。なお本書は取付後も大切に保管し、いつでも使用できるようにしてください。

- この警報器は日本消防検定協会の試験に合格した鑑定品です。
- 消防法で定める住宅用防災警報器として設置できます。
- この警報器は消防法に規定された「自動火災報知設備」には代用できません。
- この警報器は煙を感知して音声で警報を発する機能を持っていますが、火災の発生を未然に防止する装置ではありません。火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- お取り付けいただいた部屋、廊下などの部分的な感知になりますので、万一の火災に対してより効果を発揮させるためには、必要に応じて複数の場所にお取り付けいただくことをおすすめいたします。



新コスモス電機株式会社
本社 〒532-0036 大阪市淀川区三津屋中2-5-4 TEL (06) 6308-2310(代)
A265ECT_ (01) _

保証書

本書はお買い上げ日から下記期間中に故障が発生した場合に、本書記載の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

警報器型式 SA-262E/SA-265E
保証期間 お買い上げ日から1年間

お買い上げ日	年 月 日	
お客さま	ご住所 お名前	様
	電 話 ()	-
販売店	住所・店名	
	電 話 ()	-

(販売店さまで必ず各欄に記入して、お渡してください)

新コスモス電機株式会社 (裏面をご覧ください)
TEL (06) 6308-2310 (代)

安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

- 危険** 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定される」内容を示します。
- 警告** 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。
- 注意** 誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の内容

- 「一般的な禁止」事項を示しています。
- 「分解禁止」事項を示しています。
- 「水ぬれ禁止」事項を示しています。
- 「必ず行う」事項を示しています。

危険

- 火災の警報音が鳴ったら、以下の内容を必ず守ってください。**
- 火元を確認し、消火してください。** (必ず行う)
- 消火が不可能なときは、避難してください。** (必ず行う)

警告

- 分解や改造はしないでください。** 故障の原因となります。
- 衝撃を与えないでください。** 故障の原因となります。
- 定期的に(1ヶ月に1度)スイッチを押して、警報器が正常に作動するか点検をしてください。また、1週間以上留守にされたときは、警報器が正常に作動するか点検をしてください。**
- 警報器の取り外し・取り付けを行うときは、安定した踏み台を使い、十分注意してください。** 転落・転倒・落下によるけがの恐れがあります。

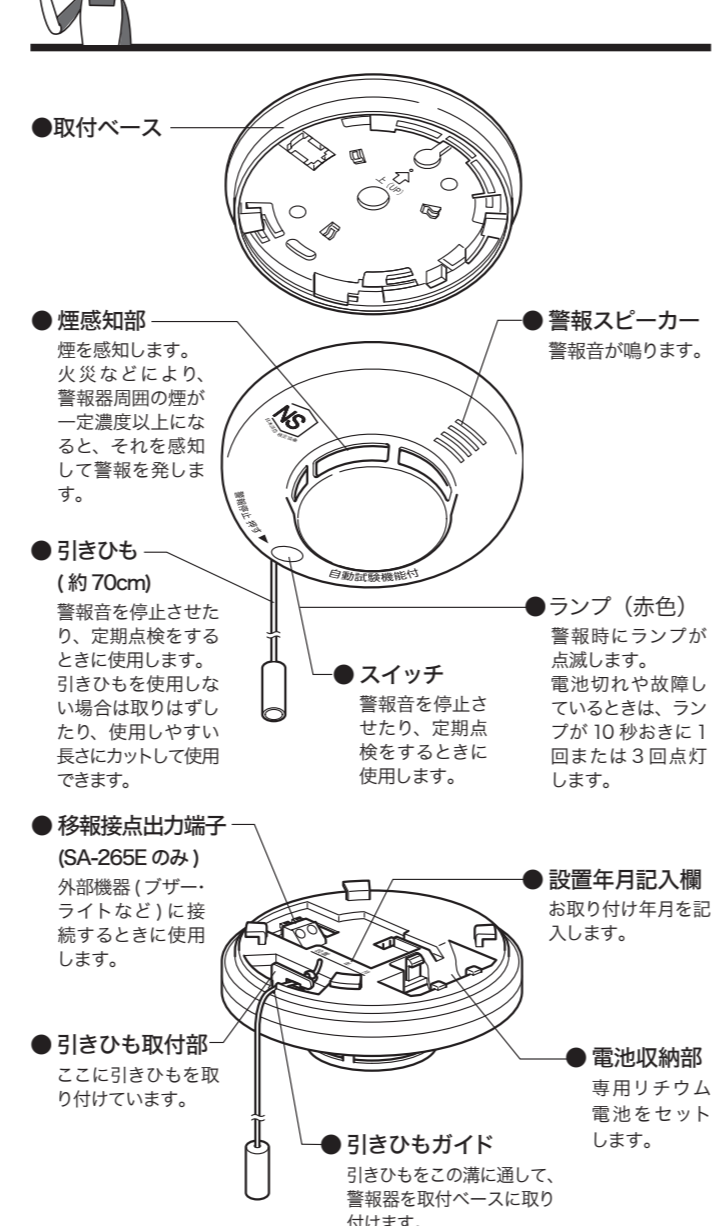
注意

- 警報器の前に物を置いたり、取り付けたりしないでください。** 警報の遅れの原因となります。
- 引きひもを引っ張って火災警報音を止めるとき、および定期点検をするときは、強く引っ張らないでください。** 警報器の落下や、ひも切れの恐れがあります。
- 警報スピーカーに耳を近づけて警報音を聞かないでください。** 聴力障害などの原因となる恐れがあります。

注意

- 噴霧式殺虫剤を使用するときは、以下の内容を必ず守ってください。** (必ず行う)
- 警報器をポリ袋などで覆う。
- 噴霧が終わったら、換気後、ポリ袋を取り除く。誤作動の原因となります。
- 警報器を水につけたり、水をかけたりしないでください。** (水ぬれ禁止) 故障の原因となります。

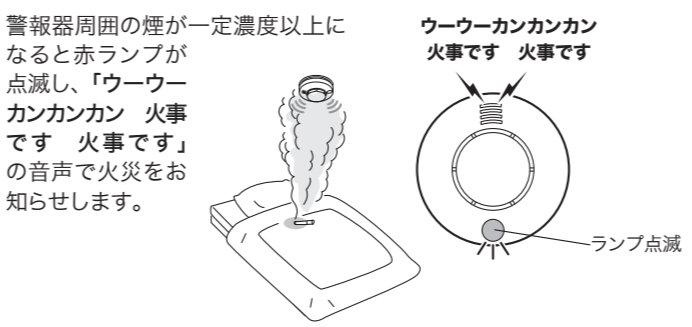
各部のなまえとはたらき



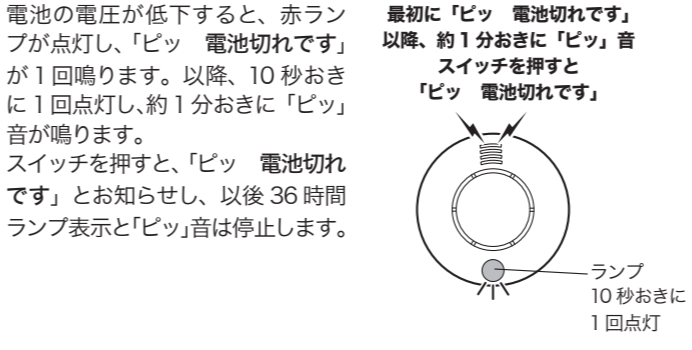
付属品 取付ねじ … 2本 リチウム電池 … 1個	石膏ボードピン … 5本 取扱説明書(保証書付) [本書] … 1枚
---------------------------------	---------------------------------------

警報器のお知らせ機能について

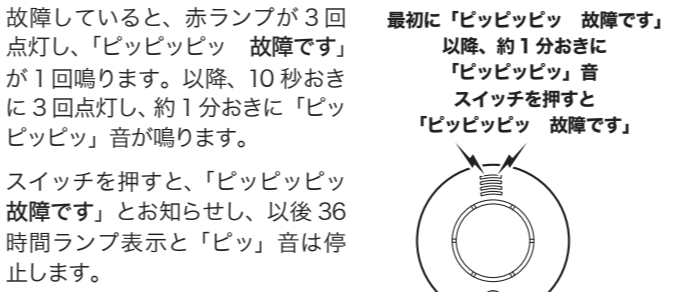
火災による煙が発生したときは



電池切れが表示されたときは



故障しているときは



- ※ 電池切れ表示中または故障表示中であっても、煙を感知した場合、火災警報が可能であれば火災警報を発します。
- ※ 36時間の停止中にスイッチを押すと、お知らせの音声を発しますが36時間のタイマーはリセットされません。
- ※ 36時間を経過すると、再度赤ランプが点灯し「ピッ」または「ビッビッビッ」が鳴ります。
- ※ 使用温度範囲外での使用や、ホコリなどが多い場所に取り付けたとき、または頻繁に点検された場合や、長時間音声警報を鳴らされた場合などは電池寿命が短くなる場合があります。

故障状態では煙を感知できず、火災警報動作をしない恐れがあります。

〈自動試験機能〉

この警報器は電池切れまたは故障した場合、自動的に検知し、お知らせする自動試験機能を備えています。

おねがい
自動試験機能では、すべての故障は検知できません。赤ランプが点灯しなくても1ヶ月に1回の点検を行ってください。

警報音が鳴ったときの処置のしかた

1 『ウーウーカンカンカン 火事です 火事です』と鳴ったときの処置のしかた

危険

警報音が鳴り、消火が不可能なときは、避難する。(必ず行う)

火元を確認し、119番へ通報するなどの適切な処置をしてください。

消火手段をとる。
119番への通報
警報器周囲の煙が一定濃度以下になると、警報音が鳴りやみ、赤ランプが消灯します。

2 火災以外で警報音が鳴ったときの処置のしかた

火災以外の煙で火災警報音が鳴ったとき

- ドアや窓を開け、しばらく換気を続ける。
 - 警報器周囲の煙が一定濃度以下になると、警報音が鳴りやむ。
※ 警報器周囲の煙が一定濃度以下になるまで、警報音が鳴り続けます。
※ 警報音が鳴りやまない場合は、「故障かな?と思ったら」を参照してください。
- 〈火災警報音を止めたいとき〉
スイッチを押してください。引きひもがあるときは、引きひもを引っ張ってください。警報音が5分間止まります。
※ 警報器周囲の煙が一定濃度以下になっていない場合は、5分後に再び火災警報を発します。

警報音が鳴った原因について

- 火災以外でも次のような場合には、火災警報動作をすることがあります。
- スプレー式殺虫剤、ヘアースプレーが警報器に直接かかったとき。
 - タバコの煙を警報器に吹きかけたとき。
 - 調理の煙や水蒸気などが警報器にかかったとき。
 - 噴霧式殺虫剤などの煙殺虫剤を使用したとき。
 - 湯気が直接かかったとき。
 - 警報器が結露したとき。
 - 砂、ホコリ、虫などが警報器の煙感知部に侵入したとき。

噴霧式殺虫剤を使用するときは

殺虫剤(くん煙殺虫剤、加熱蒸散殺虫剤なども含む)を使用する際は、誤作動のおそれがありますので、警報器を取り外すかポリ袋を覆ってください。噴霧が終わったら、換気後、必ずポリ袋を取り除き、元の場所に取り付けてください。

お手入れのしかた

- 警報器を取り外す。
- 警報器および取付部付近の天井面または壁面の汚れをふき取る。布を水または石けん水に浸し、よく絞ってからふき取ってください。このとき、煙感知部の網にふれないように、注意してください。

おねがい
● お手入れするときは、警報器の内部に水が入らないように注意してください。

● お手入れするときは、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールは使わないでください。アルカリ性洗剤などを使うと、警報器本体の表面を傷めることがあります。

警報器の取り外し・取り付けかた

取り外しかた
警報器を、ベースに押し付けながら左(反時計回り)に回し、止まったところで警報器を下に引いて外してください。

SA-265Eの場合
外部機器に接続(移報)している場合は、なるべく警報器を取り外さないようにするか、接続線が外れないように注意して外してください。

取り付けかた
ウラ面の「取付説明」— 「3 取り付けかた」を参照してください。

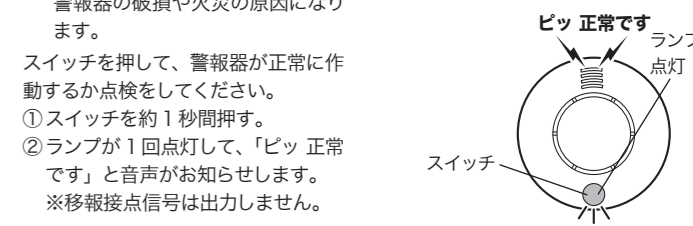
定期点検

重要 定期点検は火災警報器の維持管理に必要の要件です。正常に動作することを確認するために、必ず実施してください。

警報器は定期的に(1ヶ月に1度)以下の手順でスイッチを押して、正常に作動するか点検してください。

警告

- 1週間以上留守にされたときは、必ず警報器が正常に作動するか点検をしてください。
- 点検時、決してライターなどの炎を使用しないでください。警報器の破損や火災の原因になります。
- 点検をするときは、必ず安定した台に乗って行ってください。転倒してけがをするおそれがあります。



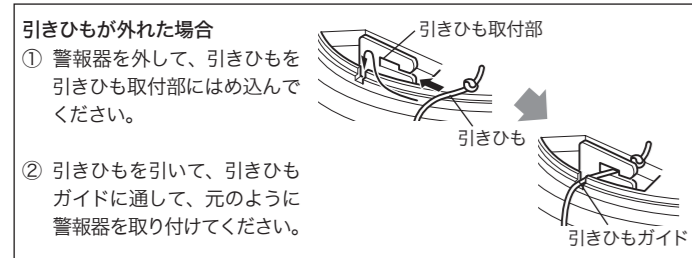
外部機器との接続(移報)を確認する場合(SA-265Eのみ)

- スイッチを約4秒間押しする。「ピッ」音の後に「ビッビッ」と鳴る。
- スイッチから手を離すと、赤ランプが点滅し「ウーウーカンカンカン 火事です」と音声警報が鳴ります。※外部機器も作動します。
- 1分経過するか、もう一度スイッチを押すと、赤ランプが消灯し、「ビー」音が鳴り、終了します。※外部機器の作動も停止します。

故障かな？と思ったら

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください
火災ではないのに火災警報動作する。	殺虫剤やタバコの煙、調理の煙・蒸気、浴室からの湯気などが警報器にかかっていますか？	室内を換気してください。警報が多発する場合は、取付場所に問題がある可能性があります。
火災警報動作が止まらない。	煙感知部に砂やホコリ、虫などがついていませんか？	煙感知部にうちわ、ドライヤー（冷風）などで風を送り、砂やホコリ、虫などを取り除いてください。
10秒間隔で赤ランプが点灯する。	スイッチを押したとき、「電池切れです」のメッセージが鳴りませんか？	電池が消耗しています。販売店にご連絡ください。
約1分間隔で「ビッ」音（または「ビッビッ」音）が鳴る。	スイッチを押したとき、「故障です」のメッセージが鳴りませんか？	警報器の故障が考えられます。販売店にご連絡ください。
スイッチを押しても音声警報が鳴らない。	電池が正しく取り付けられていますか？	電池コネクタを確実に接続してください。（取付説明の「2-2 専用リチウム電池の取り付け」を参照してください。）
	電池が切れていませんか？（電池切れ表示をしていますか？）	販売店にご連絡ください。

電池が切れているとき、またはリチウム電池を取り外した状態では煙を感知できず、火災警報動作をすることができませんので注意してください。



アフターサービスについて

- この警報器の保証期間はご購入日から1年間です。保証書をご参照ください。保証書にお買い上げ年月日、販売店名の記入のないものは、無効となる場合があります。保証書は大切に保管してください。保証期間経過後の故障、電池切れについては有料での修理となります。
- この警報器の機器交換の目安は10年です。10年を経過した警報器は新しい警報器とのお取り替えをおすすめします。
- 警報器に異常がある場合は、修理、サービスを依頼される前に「故障かな？と思ったら」の項目、処置をご確認ください。処置をしても異常がある場合は販売店にご連絡ください。
- 設置場所の環境や点検頻度などにより、電池寿命が短くなる場合があります。
- 電池の入手方法
電池交換が必要なときは、販売店にご連絡ください。
電池型名：CR-2/3AZC22P
公称電圧：DC3V
- アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、販売店までご連絡ください。

廃棄について

廃棄するときは、本体と電池を分別することができます。
※ この製品に使用している電池は、「一次電池（リチウム電池）」です。一般の不燃ゴミとして廃棄できますが、廃棄方法は各自治体の指示に従ってください。

本体と電池を分別する場合は、本体から電池を取り外し、コネクタはショートしないようにテープなどを巻いてください。

取付説明

1 お願いとご注意

- この警報器を安全に正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、指定されたお取り付けを行ってください。
- お取り付け終了後に、必ず作動点検を行ってください。万一、作動不良があったときは販売店にご連絡ください。外部機器へ接続される場合は、外部機器の取扱説明書および設置工事説明書に基づいて作動点検を行ってください。

警告

警報器の取り付けは、安定した台に乗って作業を行ってください。転倒してけがをされるおそれがあります。

注意

警報器には、落下などの強い衝撃を与えないように、取り扱いには十分に注意してください。故障や誤作動の原因となります。

2 取り付け前の確認

2-1 設置年月の記入

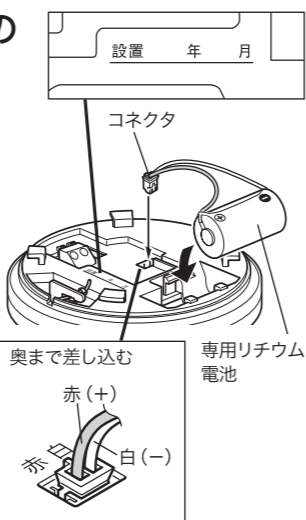
本体裏側の設置年月記入欄に、油性ペンなどで設置年月を記入してください。

2-2 専用リチウム電池の取り付け

注意

- コネクタの接続にドライバーなどを使用しないでください。コネクタが破損したり、電池がショートする原因になります。
- 専用リチウム電池の外装フィルムは電池を保護するものです。はがさないでください。
- コネクタには極性があり、逆向きには接続できません。

- コネクタを接続する。
- 電池を電池収納部にはめ込んで取り付ける。



仕様

項目	仕様
種別	光電式住宅用防災警報器
感知方式	煙感知方式（光電式2種）
定格	DC3V、300mA
電源	専用リチウム電池（CR-2/3AZC22P）（DC3V）
電池寿命	約10年 ^{※1}
試験機能	自動試験機能
警報音量	70dB（A）/m以上
外形寸法	φ98mm × 41mm
質量（電池を含む）	約130g
移報接点出力 ^{※2}	無電圧α接点（DC30V、0.1A以下）無極性
使用温度範囲	0℃～+40℃（結露しないこと）
復旧	自己復旧方式
付属品	取付ねじ（2本）、石膏ボードピン（5本）、専用リチウム電池、取扱説明書（保証書付）（本書）

※1 お客さまのご使用環境により、短くなる場合があります。
※2 SA-265Eのみ。

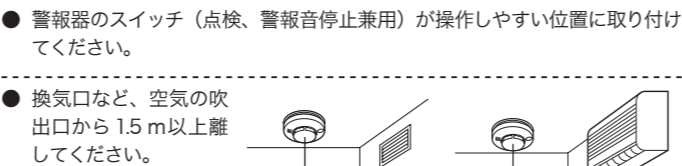
2-3 取付位置の確認

注意

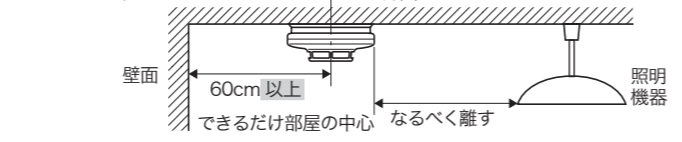
正しい取付位置に取り付けてください。取り付けたいいけない場所に取り付けると、警報の遅れ、誤報、故障の原因となります。

正しい取付位置について

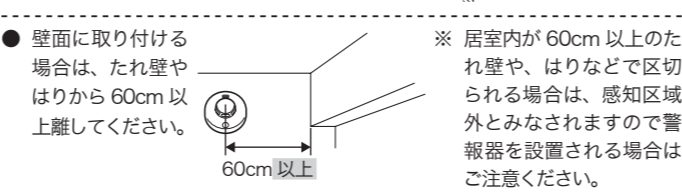
- この警報器は、以下のような場所への設置をおすすめします。居室、寝室、階段、廊下
- ※ 設置および維持基準については、政省令で定める基準に従い、各市町村条例で定められています。各市町村によって設置場所が異なる場合がありますので、各市町村が定める火災予防条例を確認してください。
- 警報器のスイッチ（点検、警報音停止兼用）が操作しやすい位置に取り付けてください。



- 天井面に取り付ける場合は、壁やはりから60cm以上離れた位置に取り付けてください。



- 壁面に取り付ける場合は、煙感知部の中心が天井面下15cmから50cmまでの範囲にくるように取り付けてください。



取り付けたいいけない場所について

以下の場所には、絶対に警報器を取り付けしないでください。

- 浴室内、水のかかる場所、水滴がつく場所。感電や電氣的故障の原因になります。
- タンスなどから60cm以内の場所。警報が遅れます。
- 火災以外の煙や蒸気がかかる場所、車庫など。故障や誤作動の原因になります。
- カーテンウォールなどで仕切られた場所。警報が遅れます。
- 温度が0℃～+40℃の範囲をこえる場所。警報器としての機能を果たしません。また、誤作動の原因になります。
- 屋外・屋側。屋外・屋側用ではありません。

3 取り付けかた

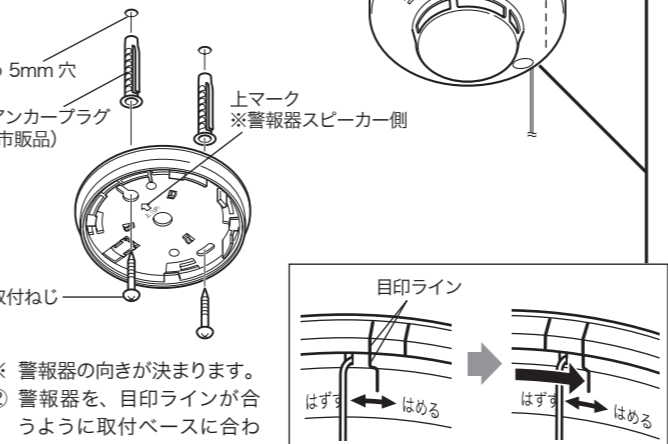
注意

取付位置の材質・強度を確認し、土壁や強度の弱い合板には取り付けしないでください。取付強度を保持するため、取付ねじ、石膏ボードピンは根元まで差し込んでください。万一、ゆるんだ場合は、取付位置をずらして付け直してください。天井面への取り付けには、石膏ボードピンを使用しないでください。

3-1 天井面に取り付ける場合

木質天井面や石膏ボードの天井面では、桟が通っている箇所に取付けてください。
① 取付ベースを、図のように取付ねじ（2本）で天井面に固定する。

石膏ボードの場合
市販のアンカープラグ（φ5mm用）を、石膏ボードに打ち込み、取付ベースを取付ねじで取り付ける。



- ※ 警報器の向きが決まります。
- ② 警報器を、目印ラインが合うように取付ベースに合わせ、止まる位置まで右に回して固定する。

〈確認〉
警報器が容易に脱落しないことを確認してください。

3-2 壁面に取り付ける場合

① 取付ベースを壁面に取り付ける。
木材・コンクリートの場合
取付ベースを、図の向きに取付ねじ（2本）で壁面に固定する。
※ コンクリート壁の場合は、市販のアンカープラグ（φ5mm）を打ち込んで、取付ねじを使用してください。

石膏ボードの場合
石膏ボードピン1本を、取付ベース矢印上部の穴へ垂直に差し込んで仮止めする。さらに石膏ボードピン3本を、図のように斜めに差し込み取付ベースを壁面に固定する。

〈確認〉
取付ベースが、壁面に密着していることを確認してください。

- ② 警報器を、目印ラインが合うように取付ベースに合わせ、止まる位置まで右に回して固定する。

〈確認〉
警報器が容易に脱落しないことを確認してください。

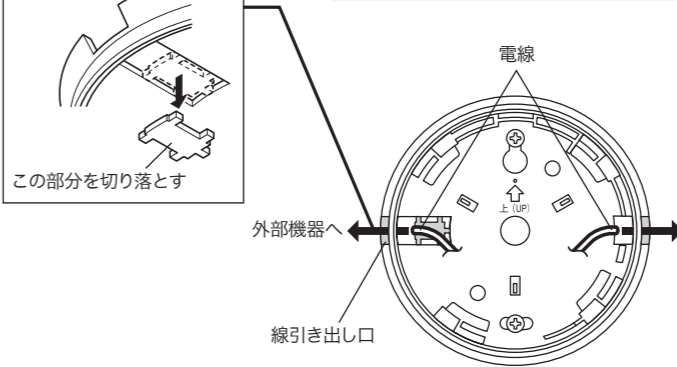


3-3 外部機器との接続（移報）SA-265Eのみ

外部機器と接続（移報）する場合は、移報接点出力端子に電線を接続します。接続線は、別途ご用意ください。（適合電線/単線：φ0.2～0.9mm、より線：0.2～0.75mm²）
※外部機器の取扱説明書もお読みの上、接続してください。

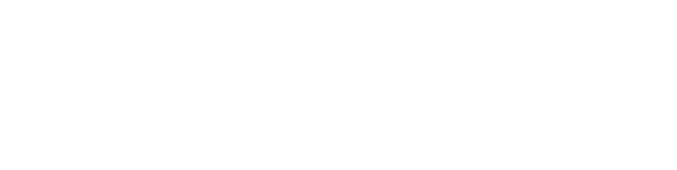
〈取付ベースの加工〉
取付ベースの線引き出し口を、ニッパなどで切り落とす。

こちら側に電線を引き出すときは、この部分も切り落とす。



〈接続のしかた〉

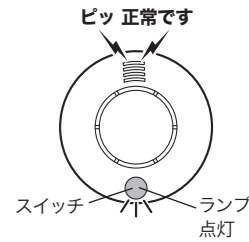
- 電線の被覆を10mm取る。
 - 移報接点出力端子の取り外しボタンを押し込んだままにする。
 - 電線を接続穴に奥まで差し込んで、ボタンを離す。
- ※ より線を使用される場合は、線をよじって接続穴に差し込んでください。



4 取り付け後の点検

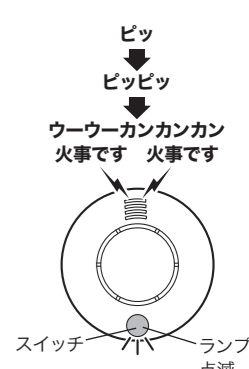
スイッチを押して、警報器が正常に作動するか点検をしてください。

- スイッチを約1秒間押す。赤ランプが1回点灯して、「ビッ正常です」と音声お知らせします。※ 移報接点信号は出力しません。



- 続いて、スイッチを約4秒間長押しする。赤ランプが点滅して、「ウーウーカンカン火事です火事です」と音声警報が鳴ります。※ 外部機器と接続（移報）させている場合は、接続先の外部機器も作動します。

〈上記の動作をしない場合〉
警報器の故障が考えられます。販売店にご連絡ください。



無料修理規定 (保証書 続き)

- 取扱説明書、本体に表示の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。（1）無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店までお申し付けください。（2）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、弊社にご相談ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店または弊社にご相談ください。
- 本書に定める保証の範囲は機器本体（専用電池を含む）とします。機器本体以外に生じた損害は、本保証書に定める保証の対象ではありません。
- 保証期間内で次のような場合には原則として有料修理となります。（1）使用上の誤り、不適当な修理、および分解、改造されたことによる故障、および損傷。（2）お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下衝撃などによる故障、および損傷。（3）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガス等）、異常電圧等による故障および損傷。（4）一般家庭用以外（例えば業務用設備、車両、船舶など）に使用された場合の故障、および損傷。（5）本書のご提示がない場合。（6）本書にお買い上げ日、販売店名の記載がない場合。あるいは字句を書き替えられた場合。
- 本書は日本国内のみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。※この保証書は、保証期間内に本書に示す条件において無料修理をお約束するものです。※お客さまにご記入いただいた個人情報、保証期間内の無料修理対応および安全点検活動のために利用させていただく場合がございます。※この保証書によって、保証書を発行している者（保証者）、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。※保証期間経過後の修理については取扱説明書をご覧ください。※ This warranty is valid only in Japan.